

平成 26 年度公開講座

横浜国立大学
統合的海洋教育・研究センター

主旨：神奈川県は東京湾と相模湾に隣接し、横浜港、川崎港、横須賀港などの重要港湾が立地する。なかでも横浜市は、国内の港で入港船舶数第 1 位、貿易額では名古屋港、東京港に次いで第 3 位（平成 24 年国内主要港湾統計）の実績を誇るとともに、多くの海洋関連企業と研究開発機関が立地する。一方、湘南海岸という日本有数の観光と海洋レジャー地域がある。また相模湾から房総半島南東沖にかけての相模トラフ沿いの地域及び南関東の直下では、大地震、例えば大正関東地震（1923 年）、が繰り返し発生している。

このように、神奈川を取り巻く海は商・工業から観光、漁業まで多様な産業構造をもつため多くの利害関係が絡み合っている。たとえば、海洋の生物資源については、その「利用」と「保護」や将来世代への分配について、さまざまなステークホルダー（利害関係者）間で争いがある。また、「利用」を意味する人間活動には、航行、漁業、レジャーなど多くが含まれる。一方で、そうした人間活動が環境、生態系などへ及ぼす影響が懸念され、一定の「保護」が必要とされる。

本講座は、海県神奈川の県民に身の周りにある海についてのリテラシーを高めてもらうため、現代日本の海洋政策のキーワードである統合的海洋管理の視点から市民講座を開設する。

講座名： 神奈川の海を学ぶ

主催： 横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター、

助成： 日本財団

後援： 横浜市、神奈川県（申請予定）

日時： 平成 26 年 10 月 15 日～12 月 10 日までの隔週水曜日 18 時から 20 時

回数： 5 回（1 回、90 分の講義）

会場： 横浜市西区 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール 3 階
一般社団法人横浜みなとみらい 21 プレゼンテーションルーム

住所：横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 5 号

案内図

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/mamoru/tayou/miniforum/images/mm21map.pdf>

対象者： 一般

定員： 60 名

受講料： 無料

日程と講義タイトル：

日 時	講義タイトル	講 師	所 属
10月15日(水) 18時～20時	世界と日本の海洋史	中原裕幸	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 客員教授
10月29日(水) 18時～20時	相模湾の成り立ちと地震	藤岡換太郎	神奈川大学 工学部講師
11月12日(水) 18時～20時	環境に優しい漁業	松田裕之	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 教授
11月26日(水) 18時～20時	港町のにぎわい	宮本卓次郎	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 教授
12月10日(水) 18時～20時	神奈川の海を知る	水井涼太	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 講師